



長崎県薬剤師会にて

「薬局間医療・衛生材料在庫情報共有システム」

を構築する事が決定しました。

目的

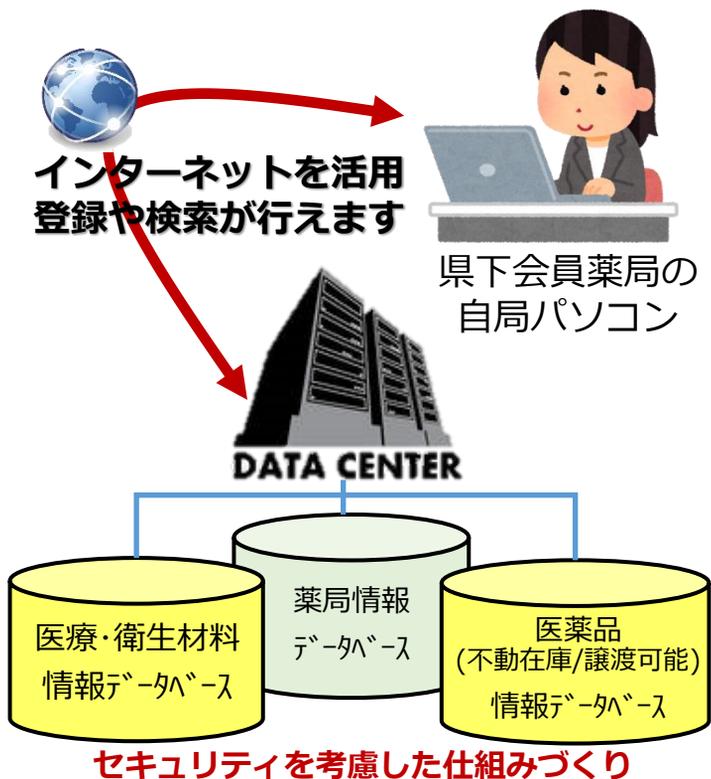
現在、保険薬局での医療・衛生材料の販売促進が国の施策として進められる中、薬局毎の医療・衛生材料の取り扱いや不働在庫、在庫保管スペース等に苦慮している現状があります。

本システムでは、会員薬局の医療・衛生材料の在庫情報を、インターネットを使って登録検索処理ができます。このシステムを活用することで、会員薬局間の『情報共有』を行い、それらの在庫を「効率的に取り扱える」環境づくりを目指します。

併せて各薬局で持つ医薬品(不働在庫分/譲渡可能分)情報も、本システムで同様に共有化し「在庫廃棄」を減らす事にも取り組みます。

概念図

県下会員薬局一斉での利用を目指しましょう



医療・衛生材料

医薬品(不働在庫/譲渡可能)について



ここがポイント

- ①簡単に商品登録が可能
> 共有したい商品が登録できます
- ②簡単に商品検索が可能
> 共有登録された商品が探せます
- ③簡単に在庫所有先に連絡可能
> 所有薬局に簡単に連絡できます
- ④商品有効期限の管理も可能
> 有効期限アラート通知もします

多くの薬局が参加する事で登録情報量が多くなり一層便利に活用できます

平成29年3月の本稼働に向けて構築プロジェクトが始動しました